ゆとり世代の叱り方・教え方Q&A（第10回）

「先輩を使う」「上司越しに文句」どうすればいい？

2017.01.18

ゆとり世代の叱り方・教え方を具体的なケースで学ぶ連載の第10回。先輩を使い走りのように扱ったり、上司への文句を人事部に訴えたりする場合の対処法です。

Q
「先輩、ちょっとこれやってください」と目上の人間を使い走りのように扱います。ばかにしているとか、そういう感じは見られないのですが……。

A 平等意識が違う方向に向いてしまっています。自分がそれをできる立場かどうかを、論理的に説明しましょう。

ゆとり世代は、先輩を使い走りにすることを悪いと思っていません。「手が空いているから手伝ってもらっただけ」程度の認識です。良くいえば合理的です。

人は平等で、対等で、みんな一緒だと教えられて育ってきています。確かに、対等に付き合うという部分は正しいのですが、会社の中においては「だとしたら、お前も（みんなと同等に）仕事を一人前にやれよ」という部分が抜けています。総論は賛成ですが、各論がズレている感じです。しかし本人は、そのことに気付いていません。

仕事を頼み、頼まれという関係は、お互い一人前の同僚の間で成り立ちます。その点、新入社員は、先輩や上司を何らかの形でサポートしたりという、行動でお返しをしているかといえば、していません。いつも迷惑をかけたり、お世話になっている立場なのに、使い走りをさせるから、周囲の反感を買ってしまうのです。

ただ本人は「みんなでこの仕事をやっていて、ちょっと手が空いている人がいたら、指示したらダメなんですかね」程度の気持ちです。

もう1つ、「周囲が自分を支えてくれるのは当たり前のこと」と思っていることも原因です。これまで、何度か登場してきた「新入社員なのだから、仕事を教えてもらうのは当たり前」という発想に近いものがあります。これは「学生なのだから、勉強を教えてもらうのは当たり前」という経験から来ています。先生や親が自分の面倒を見てくれた、そのままの環境を会社にも期待しているのです。

「お互いに一人前であれば仕事を頼み、頼まれもすることができる」「一人前でない新入社員が、対等に頼むべきではない」「使い走りをさせることで、周囲からどう思われるか」などのことを、論理的に説明しましょう。

●まとめ

「自分がまだ一人前ではないこと」をきちんと認識させる。

Q
今年配属された新入社員が、「上司が仕事を教えてくれない」と人事部に訴えていると聞きました。直接言いに来ればいいと思うのですが……。… 続きを読む